

ミナミクロダイの種苗生産

藤本 裕（仔魚飼育）、金城武光（親魚養成と採卵）、前田訓次（餌料培養）*

本事業は昭和59、60、61年度沖縄県栽培漁業センター事業報告書（昭和62年3月）に報告したので、ここでは要約のみを記す。

1. 目的および内容

当センターの生産目標である60万尾（昭和62年度）を生産するため、今年度は通気方法を改良し種苗生産を行った。

2. 成果の要約

1) 親魚は前年度より継続飼育している41尾（平均尾叉長 31.9 ± 2.6 cm、平均体重 845.2 ± 207.7 g 雌雄比不明）で、産卵は1月17日に始まり5月9日に終了し、ピークは3月中旬にみられた。その間の水温は $18.4 \sim 22.8$ °Cであった。

2) 総採卵数は約6千万粒で前年度の約2倍に増加した。

3) 今年度は、 50 m²水槽2面、 30 m²水槽1面の合計3面（有効飼育水量 116 m³）を使用し種苗生産を行った結果、総生産尾数616千尾（平均全長 $16.6 \sim 18.6$ mm）、生残率26.7%であった。

4) 今年度の最高生残率は38.0%、生産密度は7,889尾/m²で大型水槽による種苗生産では過去最高となった。

3 今後の課題

1) 安定した良質卵の大量採卵

2) 開鰾率向上のための飼育方法の検討

3) 投餌作業の省力化

*：水産試験場八重山支場